

医療法人 鳳生会 藤リハビリテーション学院  
第2回 学校関係者評価委員会 議事録

開催日時：令和8年5月18日（月）

web 会議にて実施

参加者：評価委員 4名

学校教員 5名

会議議題：

## I. 令和7年度 自己評価の項目とその評価結果について

### 1. 教育理念・目的

○当学院では各ポリシーを明確に定めており、ホームページ上への公開やオープンキャンパスで内容を説明している。

○多くの外部講師を招聘することで、業界のニーズを常に把握し、対応できるようにしている。

（評価委員より）このような取り組みがされているので、透明性があり非常に良いと思う。

### 2. 学校運営

○学校会議に学院長も参加することにより、適切な運営を行うようにしている。

○県・市などに随時適切な報告をしている。

○昨年からの課題であった、情報システム化に関しては Google のシステム使用や zoom を使用することにより、対応している。

（評価委員より）教育理念から教育活動、学生支援まで一貫性のある運営や対応が出来ているのではないかと感じる。

### 3. 教育活動

○教育理念に沿ったカリキュラムの作成をし、科目担当の変更や時間数の変更など、随時見直しをしている。

○臨床で活躍している現職者と密な連携を取ることで、現職者の意見や業界の現状を反映している。

○前期・後期終了時点での授業評価をホームページ上に公開

（評価委員より）臨床実習指導者会議の開催や臨床現場の講師招聘など、現場の声を取り入れ、カリキュラムに反映・見直しをしている点は、教育の質向上に直結する仕組みとなっていると評価できる。

（評価委員より）実際の現場を見学、体験することで学生のモチベーション向上に繋がっているのと感じる。

強いて挙げるならば、各学年によっての実習の目的を明確化することで、より良い実習に繋がるのではないかと感じる。

（評価委員より）臨床現場との連携や外部講師などの活用など、実践的な教育がしっかり取り入れられている点に関しても良い環境であると感じる。

### 4. 学修成果

○以前より退学者が若干増えてきている。

理由としては、学力の低下による単位不足が最も多い。

（評価委員より）退学率に関しては、様々な理由があるとは思いますが、一つ一つの事例に対して検討し、今後の具体的な改善策や方向性が示されると良いのではないかと感じます。

## 5. 学生支援

○高等学校との連携も取れている。特に地域の高等学校とは密に連携している。

(評価委員より) 就職率 100%の維持や国家試験合格率が全国平均を上回っている点は教育の質の高さを示すものであると感じます。

(評価委員より) 進路支援や学習支援だけでなく、経済面やメンタル面への支援も整っており、学生が安心して学べる環境だと感じる。

## 6. 教育環境

○教育に必要な備品は揃っている。

○実習地も各実習において数は揃っている。

(評価委員より) 在学生、卒業生とともに教員（担任だけでなく、教員全員が）と密な連携が取れている。今後は保護者との連携をより深めた方が、ハラスメントなどの観点から、学校や教員自身を守るためにも良いのではないかと感じる。現状では担任を中心に教員全体で保護者と連携をしているのは周知されている。

(評価委員より) 該当学生数の 10 倍以上の求人票が届くのは、日ごろから教員が外部（実習施設を含む）と連携が取れている現れだと感じる。

## 7. 学生の受け入れ募集

○オープンキャンパス、高校ガイダンスで募集活動をしている。しかし、近年は 18 歳人口の減少により、入学希望者の現象がみられる。

(評価委員より) 養成校の増加や学生数の減少により、どこの養成校も厳しい状況ではあるが、安定的な学校運営のためにも定員 30 名に達するよう引き続き対応をお願いしたい。

## 8. 財務

○法人の財務報告内容をホームページ上に公開している。

## 9. 法令等の遵守

○各種規則や法令を遵守するように学生に指導している。

○各種規則や法令をホームページ上に公開している。

## 10. 社会貢献・地域貢献

○地域に貢献する活動を行っている。要望は年々増加しており、継続した活動が行えるように工夫をしている。

(評価委員より) 業務量により教員研修や学会への参加が滞るようだが、オンライン研修や業務量の調整などで教員の自己研鑽を支援できる具体策が提示できれば、学院のサポート体制が明確に伝わるのではないかと感じる。

(評価委員より) 教員の自己研鑽や研修参加に関しては、年間予定を立案することで参加しやすい環境が整えられるのではないかと感じる。

### 【全体を通して】

(評価委員より) 専門学校として、良い教育環境が提供できているのではないかと感じる。今後も、努力と工夫をすることで、より良い教育環境が整うのではないだろうか。そのための協力や支援は外部評価委員として、関わりたいと思う。

## Ⅱ. 総括・次年度への課題など

昨年度に引き続き、良い意見交換・問題解決の場になったと感じる。

この場で皆様から頂いた意見を活かし、今後とも適切な運営をしていきたいと思う。

以上